

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 自己啓発 | 生産性のコンセプト

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

教育カリキュラム

日本国憲法

生産性のコンセプト

マーケティングとイノベーションと生産性に関わる仕事ぶりの結果が利益である。利益の第一の機能は、仕事ぶりを判定するための尺度である。

生産性とは、最小の努力で最大の成果を得るための生産要素間のバランスのことである。ある意味製造業においては、生産性の向上は肉体労働によってしか実現されない。逆にそれは肉体労働をなくす努力、肉体労働を他のものに置き換える努力によってもたらされる。こうして肉体労働を代替したものの一つが、資本財すなわち機械設備の力だった。しかしそれは、筋肉から頭脳労働への代替による生産性向上の一部に過ぎない。

われわれは肉体労働だけが唯一の生産的活動であるとの生産性のコンセプトではなく、産出と業績をもたらすすべての活動を包含する生産性のコンセプトを必要とする。

たとえば二つの種類の間接費がある。

一つは生産的な間接費であって、肉体労働や設備に関わるコストを代替するものとしての、経営管理者や専門職に関わるコストである。

もう一つは、組織内の摩擦によって発生し、かつ自ら摩擦を発生させ、生産性に何ら寄与せず、むしろ生産性を阻害する人たちに関するコストである。

生産性の尺度を必要としているのは、個々の企業のマネジメントだけではない。国民経済が必要としている。

今日、生産性の尺度の欠落は経済統計における最大の欠陥である。

この欠陥が不況を予期し、不況に備え、不況と闘うための経済政策の効果を著しく弱めている。

国及び地方の長期債務残高

(単位:兆円程度)

	平成10年度末 (1998年度末)	平成15年度末 (2003年度末)	平成20年度末 (2008年度末)	平成21年度末 (2009年度末)	平成22年度末 (2010年度末)	平成23年度末 (2011年度末)	平成24年度末 (2012年度末)	平成25年度末 (2013年度末)	平成26年度末 (2014年度末)	平成27年度末 (2015年度末)
	<実績>	<実績>	<実績>	<実績>	<実績>	<実績>	<実績>	<実績>	<実績見込>	<政府案>
国	390 (387)	493 (484)	573 (568)	621 (613)	662 (645)	694 (685)	731 (720)	770 (747)	809 (780)	837 (805)
普通国債 残高	295 (293)	457 (448)	546 (541)	594 (586)	636 (619)	670 (660)	705 (694)	744 (721)	778 (749)	807 (775)
対GDP比	58% (57%)	91% (89%)	112% (110%)	125% (124%)	133% (129%)	141% (139%)	149% (146%)	154% (149%)	158% (152%)	160% (154%)
地方	163	198	197	199	200	200	201	201	201	199
対GDP比	32%	40%	40%	42%	42%	42%	42%	42%	41%	39%
国・地方 合計	553 (550)	692 (683)	770 (765)	820 (812)	862 (845)	895 (885)	932 (921)	972 (949)	1,009 (980)	1,035 (1,003)
対GDP比	108% (108%)	138% (136%)	157% (156%)	173% (171%)	179% (176%)	189% (187%)	196% (194%)	201% (196%)	205% (199%)	205% (199%)

マーケティングとイノベーションと生産性に関わる仕事ぶりの結果が利益である。

利益の第一の機能は、仕事ぶりを判定するための尺度である。

国民経済における尺度とはなんであろうか。

1兆円を超える借金は何を物語るのでしょうか。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

傾聴

語り部スキル

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

🔍 キーワード検索はこちら

📄 サイトマップ 📄 このサイトについて 📄 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.